

鹿嶋さん

伝統の鹿嶋祭を部会討議熱く交わす

伝統と異彩を放つ鹿嶋船 製作部会

日時 平成二四年四月十五日(日)

西部サービスマスター会議室

日吉神社会館が準備された資料に基づいて問題提起がありました。

特に、鹿嶋の歴史的意義、時代の変化など調査・研究は鹿嶋人形、船、搭載物の制作に関して大いに関わりのあるところと見られます。参考文献として川口彌之助氏著書「新屋語り草」の「鹿嶋さん」を参考資料として討議しました。

協議内容の概略は次のとおりです。
・伝統的な鹿嶋祭りが継承され、鹿嶋



ねぶり流し館に展示されている鹿嶋船

船、鹿嶋人形など製作物について、各町内ともそれぞれ概ね伝統を遵守しながら製作しており、特異なものは皆無と分かった。

・製作段階から個々人の認識差により、時として喧々諤々の協議を繰り返す。各町内とも出来上がった船には、強い矜持とこだわりが込められている。他町内の船を鑑賞したいが、何らかの方法でその機会を設けられないものか。

・鹿嶋船の見せどころの搭載物(人形)は、各町内とも工夫をこらし、時代風刺や流行などオリジナリティ溢れる自信作の出し物であり、見物人、観光で訪れた客のみならず、各町内の携わった関係者のもっとも興味をそそられるところであり、鹿嶋船を審査する「コンテスト」を行なうのはどうか。

・船の「ふなべり」として使う「がつぎ」の採取や入手が年々困難を増しており四苦八苦している。今後、そのような事態に備えて対応策を検討しておく必要があるのではないか。

・「鹿嶋流し」が今では環境保全上から鹿嶋人形を「小さな船」に乗せて流したり、伝統そのままに行っている、終われば即、解体処分としている町内等々と多様である。伝統か、環境かの難しい判断と同一の方法に対する抵抗感も予想されるもの、最も適切な方策を考える必要があるのではないかと。

・各町内の鹿嶋船の製作工程の最初から写真撮影をお願いし、それを基に部会を開催したほうがいいのではとの結論に達した。

伊藤富美雄保存会会長から、「他部会からも同主旨の内容が報告されている。役員三役・各部長合同会議で協議し今後の鹿嶋祭に活かして参加町内会にご協力をお願いしたい」と感想と抱負が述べられました。

伝統行事の継承方法を検討

調査研究部会

日時 平成二四年三月二八日(水)

西部市民サービスセンター会議室

小玉隆太郎部長から挨拶のあと用意された資料の説明があり討議がすすめられ、二時間にわたる会議の結果、次のまとめになりました。

①全町内会に対して、鹿嶋船の前・後・横からの写真を保存会に提供してもらう。②文献、資料から鹿嶋の歌(歌詞)で「デッツ、ショッショ」



日吉神社に奉納された鹿嶋船

は誤りではないか。専門家の意見など集約し正調を確認していく。③実技部から模範的演奏と記録を残して(テープ、CD)各町内に広めて欲しい。

④鹿嶋祭で鹿嶋船、搭載物、演奏、(歌、太鼓)の審査会を設けたらどうか。⑤秋田県内に伝わる無形民俗文化財としての鹿嶋祭、鹿嶋流しがあり、地域別の実態調査など資料収集に務める。⑥各町内会の鹿嶋祭参加人数(子供、大人)を調査し、保存会入会活動と活動を担う指導者の育成を図る。⑦調査研究部だけで結論を出せない課題もあり、保存会全体会議に問題提起、申し送り事項を仕分けしていくなど話し合いました。

金澤國太郎副部長さんからは「時代と共に鹿嶋祭も変化する中で基本スタンスをどこに置くのかで活動の方向性が異なってくる。保存会の設立主旨と望ましい形の伝統行事の継承はどうあるべきか討議を深めてほしい」と発言がありました。

会議に出席していた藤枝隆博保存会総務からは、「保存会が発足したことによって様々な課題について議論できる共通のテーブル、会議の場ができた意義は大きい。いくつかのテーマ別で議論されたが、答えを急がず時間をかけて調査研究して欲しい。今年の鹿嶋祭への保存会の関わり方も意見があったので事務局、全体会議に報告し引き続き討議をし、保存会の存在が見える活動を展開していきたい。」と述べました。

ホームページで保存会活動を紹介

広報部会報告

四月十三日、西部市民サービスセンターにおいて新屋鹿嶋祭保存会広報部会が行われ、高橋伸部長、藤枝隆博副部長、広報部員の伊藤富美雄保存会会長が出席しました。広報部の役目は、保存会組織の運営と活動内容を会員及び新屋地域内外に広報宣伝を行う部会です。以下、課題別に討議した結果について報告します。

◆独自のHPを開設予定

現在、新屋振興会のホームページを「間借り」して保存会活動を紹介していただいています。独自のホームページを設置した場合、年間四〇〇円程度の予算化が必要です。

●最新情報 ▼保存会機関紙「鹿嶋さん」ニュース ▼総務事務局

▼事業部 ▼広報部 ▼調査研究部

市営住宅子供会太鼓練習

調査研究部会の熱心な討議

歴史を紐解く貴重な資料



▼実技部 ▼制作部 各部活動報告、予定等を掲載。

会長挨拶(原稿お願い)・沿革
・組織・役員・会則・入会案内・リンク・問い合わせ・掲示板

◆「鹿嶋さんニュース」を全町内に回覧用配布。

・内容は具体的な練習会/展示会とか、本番にはどのように開われるかにして、鹿嶋さんの2週間ぐらい前に、「新屋鹿嶋祭保存会」の存在を知らせる。

※新屋全町内会回覧に約400部必要。各町内会に回覧部数を作成しお願いする。(5月中の全町代表者会議まで)

◆マスコミに対策(売り込み)

・記者クラブなどでの資料配布・新聞社や放送局/雑誌社に直接コンタクトを送信

・具体的なイベントが有るとき(歌

と太鼓の練習会など)に、マスコミに来てもらう。

◆「新屋鹿嶋祭」ポスター

・美短の学生さんに製作してもらう。(来以降の課題)

・キャッチフレーズの募集

・ロゴの募集

・駅や公共機関に貼ってもらう。

※今年時間もないことから広報部でポスターを作成する。

※配布先 各町内会、主要な公共建物、JR、新屋内企業会社、病院などに協力要請。

◆「新屋鹿嶋祭」当日に、見物客に配布する。

・各町内の入船順

・各町内の見返りテリマ

※日吉神社周辺、沿道の見物人に配布する。A4版(ポスターミニ版)

◆「新屋鹿嶋祭保存会」のグッズを作成する。

※「地域づくり交付金」を活用できないか? 予算化必要(6月)

・幟旗 日吉神社境内に掲揚

・腕章・ハッピー、ジャンパー・タスキなど

「新屋鹿嶋祭保存会」の名前入り

※保存会役員らが着用

◆「新屋鹿嶋祭」当日に撮影会。

・以前に「NPO参画屋」でやっている。

日吉神社入船順と予定時刻

1、	栗田養護学校	9:30
2、	中表町	9:50
3、	十條団地	9:58
4、	南下新町	10:06
5、	北新町	10:14
6、	関内町	10:22
7、	比内町	10:30
8、	比内町	10:38
9、	比内町	10:46
10、	高美町	10:54
11、	大川町	11:02
12、	沖田町	11:10
13、	緑町	11:18
14、	駅前町	11:26
15、	愛宕町	11:34
16、	南上表町	11:42
17、	上表町	11:50
18、	田尻町	11:58
19、	関町	12:06
20、	市営住宅	12:14
21、	日の出町	12:22

○平成24年度鹿嶋祭は新屋20町内会と栗田養護学校が参加します。
○今年は緑町町内会が当番町です。
☆平成25年当番町 北新町
☆平成26年当番町 南新町

講演会・写真展の開催企画

事業部会報告

四月十七日西部市民サービスセンターにおいて事業部会が行われ小島初男部長、狩野紀男副部長をはじめ十名が会議に出席しました。事業部は事業方針に基づき研究発表、実技発表、講演会など企画・運営を担当する保存会の要的な部会です。小島初男部長は「事業部は企画を主として保存会の総括的な役割。各部会の報告を受けて当面する事業に関わる取り組みを討議したい」と挨拶しました。

次回の事業部会開催は、六月二十五日(月)十六時ウエスターで開催することにしました。事業部の活躍が期待されます。

しており、保存会でもマスコミ対策含む統一対応を、「来場者への参加町内会の紹介や看板による宣伝を」、「鹿嶋祭船の一同に会する展示場の企画を」、「写真の記録保存と展示会開催を」、「鹿嶋祭講演会の開催に向けて講師選出を検討していく」など意見交換が交わりました。

保存会の活動資金として秋田市の「地域づくり交付金」制度の活用を視野にタスキ、裃、幟旗の制作を総務・事業と共に検討して行くことにしました。